

地 域 団 体

菊 川 町 公 民 館

1. 団体の概要

- 設 立

昭和61年4月

- 金沢市における地区公民館の運営の特徴(金沢方式)

ア地域主導 イボランティア ウ地元負担(市4/5 地元1/5)

- 菊川町公民館のめざす姿

ここに集う人たちが 交流してつながり 学びあい 地域の中で自分には何ができるのかを
考え 人の役に立つことで 喜びとやりがい 幸福感や生きがいを 創り出す
そんな公民館をめざしたい



2. 地域の防災に関する現状

- 地域住民の防災意識など

菊川地区自主防災組織活動マニュアル（平成25年作成）

町会長・各種団体に配布されているが、多くの町会長は単年度で交代となるためマニュアルの引継ぎが困難。

住民一人ひとりにおいても防災意識に高低差がある。

防災意識の持続が課題。

3. 地域の特性に合わせた防災活動の事例紹介

- 事業名

「防災すごろくづくり」から地域力と防災力を育む

- 実施日

①令和4年度 防災すごろく 風水害編（地域準備／風水害対応）

年間11回のプログラム 延べ 350人

②令和5年度 防災すごろく 地震編（地震備え／地震対応）

年間12回のプログラム 延べ 400人

● ねらい

- ①地域住民間に「顔の見える関係」をより一層築きあげ
さらなる支えあい、助け合いの関係を醸成する。
- ②「災害に強い安心安全なまち菊川」づくりに寄与する。



4. 地域の特性に合わせた防災活動の事例紹介

- 実践による成果

- ①地域住民が主体的に「防災すごろくづくり」に関わったことで開かれた人間関係を築くことができた。
- ②自分の力を地域の中で活かすことで「私も地域の大切な一員」を実感するにつながった。

- 事業の中で課題に感じたこと

防災すごろく作成時の子どもたち（親子）の参加が少なかった点

5. 今後の地域防災活動における課題と展望

- 課 題

障がいのある方や高齢者等の一人では避難が困難な方々の支援の在り方。

- 今後の展望

令和7年度4月から「インクルーシブ防災事業」への取り組みをスタート。非常時に要支援者が誰ひとりとして弱い立場に置かれることのない社会環境づくりに期待。